

板橋 英治 議員



問 町の財政について

答 依然、厳しい状況が続くが自立を目指す

現在、町では多様な課題を抱えており、最低限の行政運営を行うにも、今後ますます大きな事業費が必要になると考えるが。

問 町の財政状況について。

政策財務課長 今後も厳しい状態が続くことが予想される。状況を的確に把握し、持続可能な財政構造の構築に向けた取り組みを推進していく。

問 財源調整のための基金は一定額必要では。

政策財務課長 景気で左右される税収の下振れへの対応や災害など不測の事態への対応策と合わせると、応分の積立金は必要不可欠です。

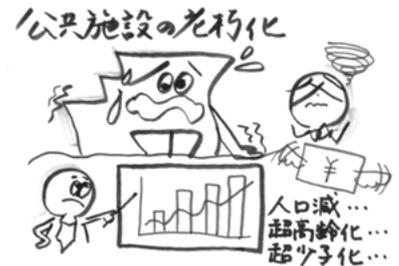
問 今後の予算動向と地方債残高について。

政策財務課長 水道及び公共下水道、農業集落排水事業施設の老朽化対策等、維持管理に要する費用負担の増加についても想定しなければならない。また、地方債残高も増加傾向を視野に入れて今後取り組む。

問 五霞町は企業が多く、裕福な町という印象を町民は持っているが、財政は今、とても厳しい状況だという事を、いつ、どの様なタイミングで周知していくのか。

副町長 第6次総合計画を策定するにあたり、今後、町民との対話の場や企業・団体ヒアリング等を予定しており、こうした機会に説明をしたいと考えています。

問 事業の優先順位について。  
政策財務課長 緊急性のあるものを除いて、事業ごとに短期・中期・長期に分離し、選択と集中を考慮していく。



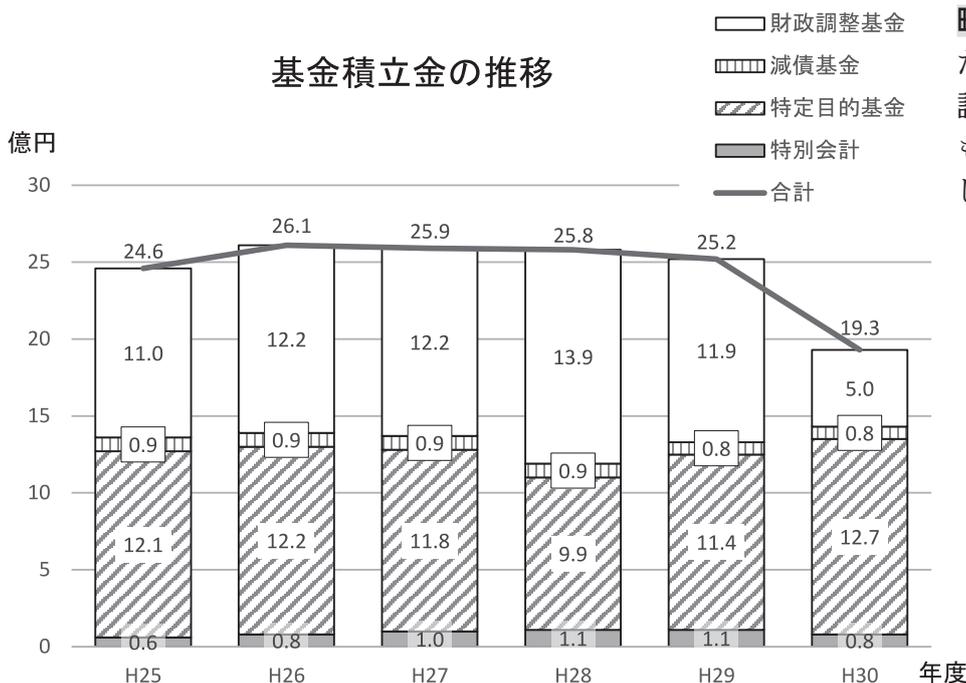
問 第6次総合計画の策定に向けた考え方は。

政策財務課長 まちづくりの目標、方向性を示し、情勢の変化に適應するため、基本・実施計画は定期に見直しを行います。

問 財政状況を踏まえた中での将来構想は。

町長 町の発展可能性を生かすためにも、限られた財源の中で課題を明確にし、厳しいながらも身の丈にあった、自立を目指していきたい。

基金積立金の推移



＊基金の種類＊

- ・財政調整基金・・・財源に余裕のある年に積み立て、不足する年に取り崩すことで、年度間で生じる財源の不均衡を調整するための基金。
- ・減債基金・・・地方債の返済を計画的に行うための基金。
- ・特定目的基金・・・大規模施設の整備など特定の目的のための基金。
- ・特別会計基金・・・国民健康保険など特別会計事業のための基金。

※平成28年度以前については確定額、平成29年度以降については見込額